

## 数A(方べきの定理③)

- ① 2つの円が点Aで同じ直線に接している。この直線上のAと異なる点Bを通る2本の直線と、2円との2つの交点をそれぞれC、DおよびE、Fとする。このとき、4点C、D、E、Fは同一円周上にあることを証明しよう。

